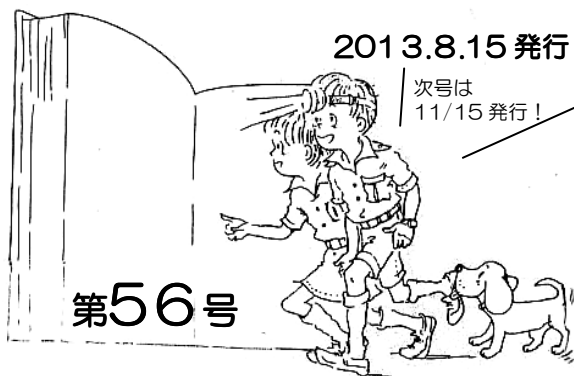


にのみやまちとしょかん 図書館だより

2013.8.15 発行

次号は
11/15 発行!

第56号



特集 寄贈、ありがとうございます!

二宮町図書館が平成24年度の1年間で受け入れた資料の冊数は約4500冊でした。そのうち一般資料の寄贈冊数は約500冊。また、地域資料として受け入れている寄贈の行政資料等の冊数も約500冊あり、年間での寄贈の受入冊数は約1000冊にのぼります。年間の受入冊数のうち、約2割の資料が皆様からの寄贈により図書館の蔵書となっています。

厳しい財政状況下において、蔵書の質を維持するために寄贈資料の活用は欠かせないものとなっています。今後とも引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

図書・CDの寄贈について

図書館では所蔵資料の充実と、予約待ち期間緩和のため、資料の寄贈をお願いしています。皆様からのご協力をお待ちしています。

特に寄贈をお願いしたいもの

- ・ 予約の多い図書
- ・ 二宮町に関する資料（二宮が舞台の作品、町民の方の著作物など）
- ・ 出版年の新しい図書。旅行ガイド、料理・手芸の本などの実用書、時代小説の文庫本等。
- ・ CD（J-POPや洋楽で話題になったものなど）

寄贈にあたってのお願いとご注意

- ・ ご寄贈いただいた資料の取り扱いは図書館に一任していただきます。蔵書として受入れしない場合は、今後もしサイクル資料として皆さまに提供します。ただし、発行年の古い百科事典やマンガ等は引き取りをお断りする場合がありますのでご了承ください。
- ・ 書き込みや汚れ、破損のある資料の持ち込みはご遠慮ください。
- ・ 学習参考書、資格試験の対策テキスト等は図書館では受入れしません。
- ・ 8cmシングルCD、輸入版CD、解説書・歌詞カードが欠けているCDはご遠慮ください。
- ・ DVD、ビデオ等映像資料は著作権法上の制限があるため、お引き取りできません。

予約の多い図書は、館内の予約ランキングボードやホームページのベストオーダー等でご確認ください。



雑誌の継続寄贈について

今年度より、スポンサー（企業や団体）に雑誌を現物納付していただく「雑誌スポンサー制度」を開始し、現在13誌受入しています。この制度で受入する雑誌は、最新号のカバー等にスポンサーの広告を掲載しています。このほかに個人で毎号継続して寄贈していただいている雑誌が14誌あります。図書館の雑誌受入タイトル92誌中、約3割が皆様からのご協力により成り立っています。

(平成25年7月現在)

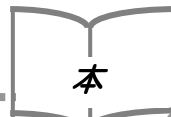
雑誌スポンサー制度による寄贈 (計13誌)		個人寄贈 (計14誌)	
世界	Tarzan	ESSE	ダ・ヴィンチ
ドゥーパ!	一個人	月刊日本	ちいさなかがくのとも
婦人公論	新幼児と保育	こどもとしょかん	DAYS JAPAN
Pen	チルチンびと	週刊新潮	日経WOMAN
園芸ガイド	鉄道ファン	週刊文春	non-no
BE-PAL	新潮	STORY	本の雑誌
Sports Graphic Number		墨	みんなの図書館

※個人による雑誌の継続寄贈は随時募集しています

***** 寄贈についてご不明な点は、お気軽に図書館までお問い合わせください *****

5月～7月の新着本&DVD

2013年5月～2013年7月新着分より
(著編者/出版社/出版年月/請求記号)



『文化を育むノルウェーの図書館 -物語・ことば・知識が踊る空間-』

(マグヌスセン矢部直美ほか/新評論/13.5/0102フ)
フィヨルド地域の人々に本を届けるブックポートや全国共通図書館カードなど、どこにいても同じレベルの図書館サービスが安定的に受けられるノルウェーの図書館を紹介。

画像
なし

『鳥の足型・足跡ハンドブック-原寸大 318種-』

(小宮輝之・杉田平三/文一総合出版/12.7/488.1コ)
スズメやカラス、希少野生動物のミユビゲラやトキ…。日本で見られる318種(亜種を含む)の野鳥の足型・足跡をすべて原寸大で掲載した日本初の図鑑。見て読んで楽しんで、自然観察の場で役立つ本。

画像
なし

『「これからの世界」で働く君たちへ』

(山元賢治/ダイヤモンド社/13.4/159.4ヤ)
変化の時代を生き抜くには、猛烈な好奇心、当事者意識が大切。ジョブズ、孫正義らビジネス界の巨人と渡り合い、アップル復活に貢献した元アップル・ジャパン社長の著者が世界人としての働き方や生き方を教える。

画像
なし

『「園芸店で買った花」をすぐ枯らさない知恵とコツ』

(主婦の友社/主婦の友社/13.4/GB627.8工)
購入した鉢花をうまく育てられない人のために、鉢花の買い方や上手な育て方をわかりやすく解説。よく知られている花や最近注目の花など全部で169種の鉢花や花の飾り方を写真付きで掲載。

画像
なし

『図説平泉-浄土をめざしたみちのくの都-』

(大矢邦宣/河出書房新社/13.4/210.3オ)
2011年に世界遺産に登録された平泉。都から蔑まれたみちのくに中尊寺を建立した藤原清衡。藤原三代が目指した浄土実現が、平泉文化にどのように反映しているのかを突き詰めた一冊。

画像
なし

『アイテムで読み解く西洋名画』

(佐藤晃子/山川出版社/13.3/723サ)
薔薇は「汚れのなさ」、葡萄は「イエス・キリスト」、うさぎは「純潔」など西洋絵画に描かれた「トレードマーク」や「持ち物のルール」に注目することで、その理解を深める一冊です。

画像
なし

映像DVD (出演者/収録時間/請求記号)

『HOME-空から見た地球-』

(ヤン・アルテュス=ベルトラン/120分/290ホ)
『空から見た地球』(290.8フ)の著者である世界的航空写真家ヤン・アルテュス=ベルトランが監督を務めた環境ドキュメンタリー。全編空撮の映像は圧倒的に美しく、普段は目にするのでできない視点から地球を眺める説得力が胸に迫ります。

画像
なし

児童書

『みんなの家出』

(藤田のぼる/福音館書店/13.4/フジ)
「どっちが本当の家出だと思っているのですか？」フミは図書館で借りた本の作者に質問の手紙を出しますが、作者からの返事は……？「家を出る」って、つまりどういうこと!?

画像
なし

展示テーブルから —8月の展示テーマ—

舞台は図書館
&本屋さん?

画像
なし

←紹介本

『れんげ野原の
まんなかで』
(森谷明子/東京創元社/
'05.2/モリ)

最近、映像でも目にしたり耳にしたりで登場する機会の多い図書館や書店。そんな、本に携わることが仕事である書店や図書館等が舞台となる読み物を集めてみました。つい立ち寄ってしまい、つい長居してしまう場所のいつもと違う雰囲気を楽しんでみて下さい。

ご紹介する本は『れんげ野原のまんなかで』です。のどかな図書館で起こるささやかな出来事や事件とともに四季が移り変わります。図書館の日常のやり取りの中にも本に関するたしかな専門知識が息づいている様子は、作者が実際に図書館に勤務していた経験からくるものもあると思います。そしてこの本を読み終わるとほんわかした気持ちになり、「おや?」「あれ?」と思ったことを何でもついつい調べたくなる心がすぐられます。

こどものほんコーナーから おすすめの一冊

『おっきょちゃんとかっぱ』

- 降矢奈々
- 福音館書店
- '97.8
- Eフリ

画像
なし

おっきょちゃんは、川で出会ったかっぱのガータロに誘われ、水底のかっぱの祭りへ。祭りのもちを三口食べたら、水の外のことを全部忘れ…。水底の世界は、鮮やかで透明で、昔みた夢のように懐かしい。長谷川摂子さん、降矢奈々さんの紡ぐ物語の、独特の世界観にひかれる。

※この期間に予約が多かった本です

【一般書 ベスト10】

- 1 夢幻花／東野圭吾
- 2 色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年／村上春樹
- 3 心／菱尚中
- 4 海賊とよばれた男 上・下／百田尚樹
- 5 ホテルローヤル／桜木紫乃
- 6 わりなき恋／岸恵子
- 7 泣き童子(わらし)／宮部みゆき
- 8 ランチのアッコちゃん／柚木麻子
- 9 桜ほうさら／宮部みゆき
- 10 徒然ノ冬／佐伯泰英



←書架整理ボランティアの皆さんはこのエプロンと腕章をつけて作業しています

書架整理とは、図書館の書架に正しく本が並んでいるよう整理することです。書架がいつも整然としている、というのは図書館の基本中の基本です。手にとった本はもとあった位置にきちんと戻すということが常に出来ていると良いのですが、利用されるにつれ、正しい位置に戻っていない図書が出てきてしまいます。書架の状態を維持するにはかなりの時間と労力が必要です。とくに利用の多い夏休みの期間などは返却された本を棚に戻す作業（配架）も追いつかないほどで、書架が乱れていてもなかなか直す手が足りないのが現状です。

そこで二宮町図書館では、今年度新たに書架整理ボランティアを募集することになりました。6月中に募集し、7月から13名で活動を開始しています。

活動日は当面火曜日と土曜日です。書架整理から作業を覚えていただき、返却資料の配架も行っていただきます。活动时、ボランティアの皆さんはラディアンのロゴマーク入りのエプロン（色は青または生成り）とボランティアスタッフの腕章をつけています。

ふっ～ん

甲高い声はなぜ「黄色い」声？

中国から仏教が伝わった当初、お経は今と比べてもっと音楽的な高低強弱の響きがあった。そんな經典の高低を示すのに、文字の横に色で印がつけられていた。その中の一番高い音が黄色だったため、という説がある。

二宮ゆかりの人物

おおぎみ かおる
大儀見 薫

ヨットマン 元日本セイルトレーニング協会理事長
元日本外洋帆走協会副会長

「私は自分なりの体力調整プログラムを組んでみた。(中略)自宅から二宮の駅までの一・二キロを、書類や本を詰めこんでわざと重くしたアタッシュケースをぶら下げて、千歩八歩で早足で歩く…」

(大儀見薫著『波切大王の冒険』より)

1987年、大儀見薫(1929-2009)はメルボルン大阪ヨットレースにアメリカの友人トンプキンスと出場し、優勝しました。当時大儀見は57歳で、西武百貨店の取締役をしていたこともありマスコミにたびたび取り上げられ、「ちょっぴりの勇気があれば、ロマンと冒険にだれでも挑戦できる」とレースを振り返った言葉は話題になりました。

大儀見薫は1929(昭和4)年8月6日、スペイン北西のサンセバスチャンで外交官の父^{よそえ}准とイギリス人の母メーベルとの間に生まれました。父の赴任先の南米各地で少年時代を過ごし、1940年11歳の時に日本に帰国。国民小学校を卒業後旧制武蔵高校に入学します。四谷坂町で暮らしていましたが、空襲により家が全焼したため家族とともに二宮へ。その後1950年にはアメリカのリード大学に留学します。その時に先述のヨットレース時のパートナーだったトンプキンスと知り合いました。大学卒業後は20世紀フォックス映画社や日本リーダーズダイジェストなどを経て、西武百貨店取締役を務めました。休日にはヨットを走らせ、数多くのヨットレースに参加し優勝もしています。

ヨットとの出会いは、ヨットマンだった父の准の影響で、高校時代に二宮の沖でヨットの手ほどきを受けた時からです。父准は当時の内山神奈川知事と知り合いだったことから、1961年には二宮中学の増設に尽力した人物です。また、母メーベルの兄であるハル・ジョーンズは芥川龍之介と親しく、芥川の著『彼 第二』のモデルとなっています。作中「彼

の妹」と書かれているのはメーベルのことです。

父の急逝を受け、大儀見は1962年頃から二宮山西で暮らしはじめました。1988年にはゲストハウスとして利用された二宮シーサイドハウス(現在の指帆亭)を建設しました。カーター元アメリカ大統領など各国の要人も多く訪れたようです。退職後は青少年教育に帆船を取り入れるセイルトレーニングの導入に力を注ぎ、1991年に日本セイルトレーニング協会を設立し、2本マストの帆船「海星」によりセイルトレーニングの礎を築きました。2004年財政難の為活動休止を余儀なくされましたが、その間に約2万人が貴重な体験をしました。2009年9月18日病気のため80歳で亡くなるまで、人生のほとんどを海のそばで過ごし、ヨット関連の翻訳本も多数遺しヨットとともにあった生涯でした。太平洋が見渡せる二宮の自宅にあった海や船関連の蔵書約2千冊は、後に船の科学館に寄贈されました。

亡くなって50日後の11月7日、日本時間の午後4時。横浜、大阪、サンフランシスコの港や洋上の帆船で一斉に、彼を送る八つの弔いの鐘が鳴り響きました。

表紙
画像
なし

このコーナーでは、二宮にゆかりのある人物や文学作品等をご紹介します。ここで紹介された人物や作品関連の情報がありましたら、図書館までお寄せください。

◆参考資料：『波切大王の冒険』(大儀見薫/講談社/885/7857才) 『勇気に風を』(大島幸夫/毎日新聞社/888/NY材) 広報にのみや(1987.5.10 293号) ふるさとにのみや(1987.6 418号) 朝日新聞(2009.11.6夕刊、2010.2.27夕刊) 「古きよき時代のこと」(山田清一郎/岩波書店(『芥川龍之介全集第7巻』月報7より)/782) 指帆亭ウェブサイト

お知らせ・お願い

★雑誌購入中止・新規受入のお知らせ

購入中止

「水墨画」(2013年8月号まで)

個人寄贈により受入

「STORY」(2013年6月号～)

「DAYS JAPAN」(2013年1月号～)

★特別館内整理休館のお知らせ

9月24日(火)～10月1日(火)の8日間、蔵書点検のため休館します。休館前の貸出の際、返却期限に変更がありますので、ご確認ください。休館中は、利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。

お願い 特別館内整理休館中の図書・AV資料の返却ポストへの返却はご遠慮ください。

★図書館で本の予約をしている方へ

上下本、シリーズ本を予約されている方は、巻数順に受け取りできるよう、必ず貸出順の指定をお願いします。貸出順の指定がないと巻数順に貸出できない場合があります(図書館では用意できた巻からご連絡します)。ご注意ください。
※ご不明な点はお気軽におたずねください。

平成25年度 図書館講座

文学散歩 軽便鉄道100年 ～歴史と文学をたどって～

今年は二宮一秦野間を走った軽便鉄道の跡をたどり、二宮駅周辺から一色地区、中井町方面を散策する、初めてのコースです。ぜひご参加ください。

講師：石井敬士氏(元二宮町図書館アドバイザー)

開催日：11月16日(土)、23日(土)

※申し込み方法や日程等の詳細につきましては、広報お知らせ版、館内掲示等でお知らせいたします。

★二宮町図書館リサイクル市が終了しました

5月25日、26日の2日間で992名の来場があり、約4,261冊の本等をお持ち帰りいただきました。図書館基金へ合計59,586円の募金をいただきました。ご協力ありがとうございました。



←リサイクル市当日の様子

行事

※くわしくはお問い合わせください。

8月							■ 休館日	
日	月	火	水	木	金	土		
					1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10		
11	12	13	14	15	16	17		
18	19	20	21	22	23	24		
25	26	27	28	29	30	31		

9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

ちいちゃいおはなし会
第2水曜日

おおきいおはなし会—小学生からおはなし会とありがとうみあそび
第3土曜日

わらべうたであそぼう!
第3金曜日(※8月は第5金曜日)

図書館託児サービス
第3木曜日(※8月は第4木曜日)

展示テーマ

6月 一般/『霊峰富士が世界遺産へ』
児童/『6月みなづきどんなつき』

7月 一般/『この伝記!』
児童/『夏の本』『課題図書』
『小・中学生にすすめたい本』
A V /『craving R&B?』

8月 一般/『舞台は図書館&本屋さん?』
児童/『夏の本』『課題図書』
『小・中学生にすすめたい本』

■特設展示(5~7月)

『第149回芥川賞・直木賞発表』
『なだいなださんをしのんで』
『男女共同参画週間』
『高橋たか子さんをしのんで』

■児童特設

『宿題(自由研究・作文等)』

■地域資料展示ケース【二宮ゆかりの人物】

7~9月・・・『棚橋半蔵』

■書庫の本紹介コーナー

7~9月・・・『関西出身の作家の中から』

協力ありがとうございます

図書館基金

7月末までの累計
3,629,346円

《月別合計》

5月の金額
62,533円

6月の金額
4,100円

7月の金額
3,231円

ひとつだけ ~編集後記にかえて

アルバムを見ていたら数年前の夏に行った西伊豆(堂ヶ島)の懐かしい写真を発見。三四郎島での格別の体験を思い出した。干潮時に海が割れて、陸地から島へできた道を渡るという体験。今まで海の底だったところを踏みしめて渡ったときの不思議な気分と爽快感。ちなみにこの現象はトンボ口現象といい、フランスの小島の修道院モン・サン=ミシェルでも見られるそうですよ。

編集・発行 二宮町図書館

住所 〒259-0123

二宮町二宮1240-10

☎ 0463-72-6913 FAX 0463-72-6914

ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>

図書館だよりテープ版もあります。お問い合わせください!

『二宮ゆかりの人物
ガイドブック』
好評発売中!

